

事業計画進捗報告書（記入例）

新規開業・スタートアップ支援資金(創業後目標達成型金利)等をご利用いただいている方が、決算月からおむね半年後(個人の方の場合は10月)に「事業計画書(創業後目標達成型金利利用)」の進捗状況をご報告いただく際の記入例になります。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

ご署名またはゴム印(社判)を押印ください。

住所 ○○市○○町1-1-1

株式会社 ○○

事業所名 代表取締役 ○○ ○○

実績値のみご記入ください。

○収支の状況(○年○月期)

(単位:万円)

	当期の計画値	実績値
売上高	1,700	1,600
売上原価	510	550
(うち減価償却費)	0	0
売上高総利益	1,190	1,050
販売管理費	1,100	1,000
(うち減価償却費)	100	100
営業利益	90	50
経常利益	50	40
当期利益	50	40

○財務の状況(○年○月期)

(単位:万円)

	当期の計画値	実績値
総資産		800
総負債		700
(うち社債及び借入金)		500
自己資本		100

実績値の期間を報告対象の事業計画書の期間に換算してご記入ください。

(例)「事業計画書での期間:1年、実績値の期間:6カ月」で売上高を求める場合
実績値800万円÷6カ月×12カ月=1,600万円

○計画達成のため、今期主に取組んだ事項

・今期から、月次の資金繰り計画を作成し、経費の管理を徹底。アルバイトのシフト見直し等による人件費の削減や光熱費等の圧縮により、販売管理費の低減を図った。

「取組んだ事項」を「取組んでいる事項」に読み替えてご記載ください。

○計画達成できなかった場合(*)の要因および今後の見込み

・売上向上に向けて、SNSでの情報発信や地元情報誌への広告掲載を予定している。また、よろず支援拠点のコーディネーターに相談し、地元の産品を活かしたメニューの開発も行っている。

「計画達成できなかった場合」を「計画達成できていない場合」に読み替えてご記載ください。

(*)当初計画の主要項目に対して、概ね8割を下回る場合をいう。

以下空欄となります。

(以下認定支援機関使用欄)

○実施した実行支援内容(経営環境変化資金の場合は経営指導内容)

認定支援機関連絡先

ご署名またはゴム印(社判)を押印ください。

電話番号

住所

機関名

(担当者)